

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：鈴木 克宗

事業名 ：一般国道158号 永平寺大野道路 <small>えいへいじおおの</small>		事業区分 ：高規格幹線道路	事業主体 ：国土交通省 近畿地方整備局
起終点 ：自：福井県大野市中津川 至：福井県福井市玄正島町		延長 ：26.4km	
事業概要 ：永平寺大野道路は、中部・関東と北陸の広域的・一体的発展や広域交通の円滑化等を目的として整備されている中部縦貫自動車道の一部を構成するL=26.4kmの自動車専用道路である。			
H2年度 事業化	H4年度 都市計画決定	H4年度 用地着手	H10年度 工事着手
全体事業費 ：1,290億円		事業進捗率 ：29.5%	供用済延長 ：1.8km
計画交通量 ：17,200台/日			
費用対効果分析結果	B/C ：(事業全体) 2.7 (残事業) 4.7	総費用 ：(残事業)/(事業全体) 771 / 1,315 億円 (事業費：661/1,205億円 維持管理費：110/110億円)	総便益 ：(残事業)/(事業全体) 3,604 / 3,604 億円 (走行時間短縮便益：3086/3086億円 走行費用減少便益：363/363億円 交通事故減少便益：155/155億円)
基準年 ：平成16年			
感度分析の結果 ：残事業（事業全体）について感度分析を実施 交通量変動：B/C=4.5(2.6)(交通量+10%) B/C=4.9(2.8)(交通量-10%) 事業費変動：B/C=4.3(2.5)(事業費+10%) B/C=5.1(3.0)(事業費-10%)			
事業の効果等 ：安全で安心できるくらしの確保（三次医療施設である県立病院へのアクセス向上が見込まれる） 災害への備え（国道158号の雨等による事前通行規制区間の代替路線を形成する） 他10項目に該当			
関係する地方公共団体等の意見 ：中部縦貫自動車道路建設促進福井県協議会、中部縦貫・北関東広域道路建設促進同盟会等4つの期成同盟会・協議会から毎年事業促進の要望を受けている。			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ：永平寺大野道路沿線地域は、人口はほぼ横ばい傾向にあるものの、人口あたりの自動車保有台数は増加しており、並行する国道416号では交通量が増加している。			
事業の進捗状況、残事業の内容等 ：用地については、事業対象面積の約7割で用地買収を完了しており、工事については、計画延長の約3割の区間で工事に着手している。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ：計画延長L=26.4kmのほぼ全線にわたり約60箇所の埋蔵文化財が分布しており、また歴史的に貴重な遺跡も確認されるなど発掘調査に時間を要している。今後とも全線供用に向けて事業の推進を図る。			
施設の構造や工法の変更等 ：施工にあたっては、建設発生土の有効活用や新技術・新工法を積極的に活用するなどコスト縮減に努める。			
対応方針 ：事業継続			
対応方針決定の理由 ：以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。			
事業概要図			

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。